

# 一般会計137億600万円・特別会計49億 5,525万円・企業会計5億3,937万円

## 厳しい財政状況の打破を図る 第三次財政健全化計画スタート

会計	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率	
一般会計	137億 600万円	131億 3,036万円	5億 7,564万円	4.4%	
特別会計	国民健康保険	41億 622万円	40億 5,497万円	5,125万円	1.3%
	後期高齢者医療	3億 1,430万円	2億 9,773万円	1,657万円	5.6%
	土地区画整理事業	5億 3,473万円	5億 4,447万円	▲974万円	▲1.8%
※下水道事業(企業会計に移行)	5億 3,937万円	*7億 1,123万円	▲1億 7,186万円	▲24.2%	
合計	192億 62万円	187億 3,876万円	4億 6,186万円	2.5%	

※令和2年度より下水道事業に農業集落排水事業が統一され、下水道事業(企業会計)となります。  
 ※令和元年度の下水道事業は、令和2年度と比較するために、下水道事業、農業集落排水事業の両特別会計の合計額となっています。

### 賛否分かれる

賛否が分かれた議案と討論があった議案についてお知らせします。  
 また、すべての議案の賛否は町議会のホームページで公開しています。



議案	採決の結果	玉城 勇	新垣 善之	岡崎 晋	石垣 大志	金城 憲治	大城 勇太	大城 勝	照屋 仁士	金城 好春	浦崎 みゆき	宮城 清政	赤嶺 奈津江	大城 毅	宮城 寛諄	大城 真孝	知念 富信
議案第9号 南風原町総合保健福祉防災センター設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	-
議案第19号 令和2年度南風原町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 -：知念富信議員は議長のため採決に加っていません

**「選択と集中」による予算編成、厳しい財政状況**  
 本町の財政は、令和元年度予算に続き年々増大している社会保障費や、後年度においても一般財源のさらなる負担増加が見込まれます。  
 また、国民健康保険特別会計の赤字解消による財政調整基金残高の減少により、依然厳しい財政状況にあることから、令和2年度予算は、計画の初年度となる第三次財政健全化計画に基づき、歳出全般にわたり、「選択と集中」による事業の抜本的な見直しを図った予算編成となっています。

**幼稚園土曜日預かり保育について**  
 当初の計画どおり各幼稚園で土曜日預かり保育を行うことが望ましい。(関連記事P.5)

**留意事項**  
 フクギ並木擁壁工事監督支援業務委託料について町天然記念物のフクギ並木を保全するだけでなく、関係部署と連携し、擁壁を工夫し景観に配慮する。

**予算は一般会計で今後の予算執行にあたり2点の留意事項を付け可決**

### 3月定例会

令和2年度予算を中心に審議し、5会計及びすべての議案を可決しました。  
 一般質問は3日間に渡り13人の議員が質問しました。  
 提出された条例14件、補正予算6件の議案を審議しすべて可決しました。

## 令和2年度 いま、町の財政は

一般会計+特別会計+企業会計

令和2年度の当初予算総額は	192億62万円 町民1人あたり 48万1千円	平成30年度末の基金(預金)残高は	11億 4,842万円 町民1人あたり 2万9千円
令和2年度の町債・企業債(借金)は	合計4億 1,050万円 一般会計 ..... 3億 3,550万円 土地区画整理事業 ..... 1,200万円 下水道事業 ..... 6,300万円	平成30年度末の町債(借金)残高は	165億 5,672万円 町民1人あたり 41万 5千円
令和2年度沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)の交付額は	2億5,695万円		※人口3万 9,911人(令和2年3月末現在)

#### 一般会計に対する討論

**Point** 「選択と集中」を求めた予算

**討論 反対** 大城 毅  
 国保税や給食費の引き上げ等の他市町村より進んでいるものを低い市町村にあわせている。町民に負担をしいるものとなっている。

**討論 賛成** 玉城 勇  
 これまで町民福祉のために多くの施策を行ってきた。現状の財政状況を見ると見直す時期である。

#### ちびくくる館の設置及び管理運営に対する討論

**Point** 使用料の徴収と利用時間の制限について

**討論 反対** 岡崎 晋  
 財政が厳しいからといって健康増進室から財源を得ようとしてはいけない。

**討論 賛成** 玉城 勇  
 マッサージ機、電位治療器は、利用頻度も高く、一部の利用者による占有も見られる。受益者負担の観点から利用者から使用料を徴収することが望ましい。

**討論 反対** 大城 毅  
 有料化の正当性や効果が十分に説明されていない。利用者の拡大と言うがむしろ反対の事を行っている。